

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の検証について

1 地方創生推進タイプについて

(1) 対象事業

地方版総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業

(2) 活用状況

令和5年度においては17事業について計6億5,112万円を活用。

(3) 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

《全体の状況》

	指標値を 達成	概ね順調に 推移	更なる取組みが 必要	策定時を 下回る	合計
項目数	28項目 (58.4%)	4項目 (8.3%)	12項目 (25.0%)	4項目 (8.3%)	48項目 (100.0%)

※KPIは61項目存在しているが、統計値未発表の13項目については除いて集計

《各事業の評価》

KPIについて、更なる取組みが必要な項目や策定時を下回っている項目もあるものの、各対象事業の実施により「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の推進が図られた。なお、継続事業については、KPIの進捗状況を踏まえて適宜事業内容を見直しながら、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

2 地方創生拠点整備タイプについて

(1) 対象事業

地方版総合戦略に基づく、地方創生の推進に資する施設の整備等を行う事業

(2) 活用状況

令和4年度※に1事業について2,581万円を活用し、令和5年度においては3事業について2億3,907万円を活用。 ※ 地域再生計画期間内（原則5年間）の効果検証が必要

(3) 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

KPIは11項目存在しているが、2項目は統計値が未発表、9項目は施策効果の発現が今後となる。

《各事業の評価》

KPIについて、事業効果の把握・発現が今後になるが、各事業において、「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の推進に寄与することが期待できる。整備した施設を活用し、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

【参考】

デジタル田園都市国家構想交付金制度要綱第12の規定により、当該事業に関する毎年度の達成状況等について検証・評価するに当たり、学識経験者等の第三者の意見を求めるよう努めることとされていることから、本県では山形県総合政策審議会において検証・評価することとしている。

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業のKPI一覧

1 地方創生推進タイプ活用事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR5事業終了時までの増加分(累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
1	移住定住・人材確保戦略的展開事業 (R1～R5年度)	移住定住・人材確保策を一体化・組織化したうえで、本県への移住希望者のニーズに寄り添った質の高い移住定住・人材確保策を戦略的に展開	本事業実施後における新規移住者数(県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した者)(人)	4,000	4,047	達成
			移住相談窓口(県及び市町村)への年間相談件数(件)	2,550	17,600	達成
			移住定住ポータルサイトトップページのアクセス件数(件)	50,000	1,117,697	達成
2	誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業 (R3～R5年度)	「交流・居場所」、「健康」、「活躍・しごと」、「人の流れづくり」の各要素ごとの事業を通して、誰もが居場所と役割を持って活躍できる地域コミュニティづくりを推進	地域運営組織数(箇所)	44	38	概ね順調
			若者就職支援センターにおける就職者数(人)	30	17	更なる取組みが必要
			市町村・企業等による健康づくり事業への参加者数(人)	30,000	452	更なる取組みが必要
			地域活動に取り組む青年グループ数(団体)	14	14	達成
3	「新しい山形の過ごし方」(県内資源の魅力を活かした滞在型観光)の提案によるインバウンド誘客促進事業 (R3～R5年度)	海外市場ごとの特性に応じた観光商品の造成や、山形の特徴・優位性を活かした「新しい山形の過ごし方」の提案等による観光消費額の拡大とインバウンド誘客の促進	外国人旅行者延べ宿泊者数(人)	312,645	△ 92,110	策定時を下回る
			外国人旅行者受入数(人)	492,035	23,506	更なる取組みが必要
			訪日外国人観光消費額単価(円)	2,177	統計値未発表	—
			外航クルーズ船寄港数(回)	7	6	概ね順調
4	デジタル技術を活用した幸せな地域づくり推進事業 (R3～R5年度)	福祉、産業、教育等を中心としたあらゆる分野におけるデジタル技術の活用や高度な技術開発、デジタル人材の活用等による県内のDXの促進	本事業を通じた、デジタル技術を活用した生産性向上や暮らしの質の向上に関する取組件数(件)	31	57	達成
			デジタル技術研修の受講者数(人)	144	188	達成
			本事業を通じた、デジタル技術を導入する訪問看護事業所の数(件)	18	63	達成
			ICT推進トップリーダーによる研修を受講した教員数(人)	112	539	達成
5	多様な「チカラ」の結集による総合的産業活性化事業 (R3～R5年度)	県内企業の情報発信強化等による産業人材の創出・確保、創業・事業承継支援による地域産業の新陳代謝の促進、新たな販路開拓支援等による県産品のブランドイメージ向上・定着の促進	本事業を通して増加した県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合(%)	1.03	△ 5.99	策定時を下回る
			本事業を通じた県の支援による創業件数(件)	43	165	達成
			本事業を通して増加した県産品ポータルサイト「いいもの山形」掲載生産者数(者)	14	15	達成

6	バイオ関連産業エコシステム形成促進事業 (R3~R5年度)	慶應先端研及びバイオベンチャーと県内企業との共同研究・共同開発及び事業化を推進するとともに、事業化した場合の販路開拓等を支援	本事業により慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発した製品・サービスのうち、事業化・製品化した件数(件)	3	6	達成
			本事業により共同研究を行った慶應先端研バイオベンチャー及び県内企業における新規雇用者数(人)	45	52	達成
			慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、庄内地域以外の割合(%)	21	13	更なる取組みが必要
			慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、食品産業以外の産業の割合(%)	12	26	達成
7	がん地域医療次世代モデル構築推進事業 (R3~R7年度)	国立がん研究センターや慶應先端研と連携したメタボローム解析技術を用いた研究の事業化の推進や、連携研究拠点の認知度向上による高度人材の集積、交流人口拡大の推進	支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数(商品)	3	2	更なる取組みが必要
			支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数(人)	7	5	更なる取組みが必要
			次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数(件)	600	786	達成
			県内医療機関等とのがん治療等に関する連携(共同研究含む)数(件)	3	3	達成
8	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業 (R3~R5年度)	水産業者の経営基盤強化に向けた取組みを支援するとともに、水産物の付加価値向上に向けて漁業者等の加工・鮮度保持技術の導入を支援	支援事業を通じたトップランナー及び準トップランナーにおける海面漁業生産額の増加(千円)	166,020	統計値未発表	—
			支援事業を通じた蓄養による出荷額の増加(千円)	7,900	0	更なる取組みが必要
			養殖生産額(種苗等販売額を含む)(千円)	51,520	統計値未発表	—
			遊漁証の発行枚数の増加(枚)	2,950	△ 691	策定時を下回る
9	やまがたの未来を担う元気な農林業人材(ひとり)づくりプロジェクト (R3~R5年度)	地域農林水産業を支える多様な人材の確保・育成に取り組むとともに、経営マインドや高度な経営・技術知識の習得やICT等の新技術の導入を促進	山形県で農業を始めた若者及び女性の人数(女性と30代以下の男性の実人数)(人)	137	72	更なる取組みが必要
			山形県への移住者で、農業を始めた人数(人)	37	20	更なる取組みが必要
			支援事業を通じた農業者当たりの産出額の増加(万円)	49	統計値未発表	—
			農業就業ポータルサイトのアクセス数(件)	16,700	23,824	達成
10	収益性の高い農業の展開と県産農産物等の付加価値向上推進事業 (R3~R5年度)	ECサイトの活用など販売チャンネルの多角化の支援等による県産農林水産物・6次産業化商品の需要拡大・販路拡大 酒田港を利用した輸出の促進	支援事業を通じた食品製造品販売額(万円)	5,900	統計値未発表	—
			支援事業を通じた県産米の輸出額(百万円)	72	統計値未発表	—
			6次産業化に取り組む事業者のEC参入率(%)	12.0	統計値未発表	—
11	次世代産業への参入促進による付加価値向上事業 (R4~R6年度)	成長分野への新規参入支援等による企業の付加価値向上の促進や、本県が先導的に取り組んできた分野における研究シーズの活用による製品・事業の高付加価値化等により、高付加価値を生み出すものづくり産業を形成	本事業を通して新たに成立した商談の件数(件)	22	97	達成
			本事業を通して自動車・医療・福祉等の成長期待分野に新たに参入する県内企業数(社)	7	12	達成
			本事業を通して新たにAIを導入する企業数(社)	6	6	達成

12	山形の宝である多彩な環境・文化資産の活用による持続可能な観光地域づくり推進事業 (R4～R6年度)	本県の特徴ある地域資源等を活かし、魅力ある地域づくりを推進し地域の活性化を促すとともに、地域の多様な資産を保全・活用・継承していく取組みや、郷土愛の醸成等の取組みを通して、地元が主体性をもった持続可能な地域づくりを推進	蔵王を取り巻く地域(山形市、上山市、天童市)の観光消費額単価(円)	7,986	34,173	達成
			県内主要温泉観光地の観光者数(千人)	3,366.0	統計値未発表	—
			やまがた景観物語「おすすめビューポイント」来訪者数(千人)	20	28	達成
			地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒(小学生)の割合(%)	2.8	△ 10.1	策定時を下回る
13	人材・産業・地域のグローバル化推進事業 (R4～R6年度)	外国人留学生の受入拡大・県内定着促進や、県内企業における外国人材の受入促進、若者や企業の経営者等が国内外と新たに交流する機会の創出等の取組みを通じて、人材・産業・地域のグローバル化を推進	本事業を通じて増加した外国人留学生のうち卒業生の県内就職率(%)	8.89	0.00	更なる取組みが必要
			本事業を通じて増加した外国人留学生の県内受入数(人)	72	41	更なる取組みが必要
			本事業を通じて増加した海外取引を行う県内企業の数(社)	37	統計値未発表	—
			サミット参加者数(人)	240	205	概ね順調
14	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト～ (R3～R5年度)	イルミネーションを観光資源とした事業の実施、地域資源である「食」にスポットを当てた圏域外への情報発信強化による冬期間の観光誘客の促進	冬期間(1月～3月)の観光者数(千人)	261.98	統計値未発表	—
			道の駅の観光者数(千人)	122.16	統計値未発表	—
			圏域外に居住する関係人口の人数(人)	45	統計値未発表	—
			宿泊者数(人)	28,180	統計値未発表	—
15	プロフェッショナル人材の活用による中小企業実現事業 (R5～R9年度)	地域企業の企業力を高めるプロフェッショナル人材のマッチング支援	地域企業に対するプロフェッショナル人材マッチング件数(件)	70	81	達成
			地域企業の経営課題に関する相談件数(件)	225	237	達成
			マッチング件数のうちデジタル化推進に資する件数(件)	7	15	達成
16	山形県移住支援事業・マッチング支援事業・移住支援窓口機能強化事業、山形県地域課題解決型創業支援事業 (R5～R9年度)	東京圏からの移住並びに本県産業への就業及び起業を後押しするための移住支援金の支給、本県産業と就業者とのマッチング支援 地域課題解決型の社会的事業分野における起業家に対する起業支援金の支給	本移住支援事業に基づく移住者数(人)	80	100	達成
			本起業支援事業に基づく起業家数(人)	4	0	更なる取組みが必要
			マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)	210	425	達成
			本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数(世帯)	20	17	概ね順調
17	女性・高齢者・障がい者新規就業・デジタル就業支援事業 (R5～R9年度)	デジタル技術の活用促進を図りつつ、女性、高齢者、障がい者の新規就業者の掘り起こし、職場環境の改善、マッチング、伴走支援	本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)(人)	400	926	達成
			デジタル技術の習得や仕事への活用促進の支援に関する取組みにより、デジタル技術を仕事に活用している者の数(デジタル活用者数)(人)	30	154	達成

2 地方創生拠点整備タイプ活用事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR5事業終了時までの増加分(累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
1	東北農林専門職大学(仮称)を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備計画(第1次事業)(R5.3完成)	園芸農業(果樹)を成長産業化させるため、ICT技術を活用した気候変動対応型農業の技術開発に関する拠点施設を整備	施設整備によって向上した技術により増加した産出額(さくらんぼ)(百万円)	200.00	統計値未発表	—
			施設整備によって向上した技術により増加した農業者一人当たりの産出額(万円)	15.00	統計値未発表	—
2	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート農業研究・研修拠点整備計画(R6.3完成)	農業分野における課題である大規模化に対応し、省力化、多収、高品質化を実現するため、リモートセンシングや生育環境モニタリング装置等を備えた施設を整備	設備投資によって向上した技術により増加した産出額(米)(億円)	0.00	- (効果の発現が今後)	—
			設備投資によって向上した技術により増加した産出額(野菜)(億円)	0.00	- (効果の発現が今後)	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	0	- (効果の発現が今後)	—
3	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート畜産研究・研修拠点整備計画(R6.3完成)	畜産分野における課題である大規模化、省力化、高品質化を実現するため、牛群管理システムや分娩監視装置等の様々なデジタル機器を備えた施設を整備	施設整備によって開発した技術により増加した産出額(畜産)(億円)	0.00	- (効果の発現が今後)	—
			施設整備によって開発した技術により増加した農業者一人当たりの肉用牛産出額(万円)	0.00	- (効果の発現が今後)	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	0	- (効果の発現が今後)	—
4	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート森林業研究・研修拠点整備計画(R6.3完成)	利用期を迎える森林資源の適正な維持管理や利活用を拡大するため、リモートセンシングや森林資源情報の収集・解析に必要な設備・施設を整備	施設整備によって確立された手法により増加した県産木材供給量(m ³)	0.00	- (効果の発現が今後)	—
			施設整備によって確立された手法により増加した林業産出額(億円)	0.00	- (効果の発現が今後)	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	0	- (効果の発現が今後)	—